『沙石集』和歌一覧

	和歌	歌人名	米沢本	元応本	梵舜本	成簣堂本	内閣本	阿岸本	長享本	東大本	神宮本	岩瀬本	吉川本	慶長本	貞享本
1	我ユカンユキテマホラム般若台 釈迦ノミノリノアラムカキリハ	春日大明神	①13オ	①16ウ	①14ウ	①14ウ	①10ウ	①15ウ	①14オ	①13オ	①11ウ	①16オ	①24ウ 〈巻一〉	①13オ	①13オ
2	我ヲシレ釈迦牟尼仏ノ世ニ出テ サヤケキ月ノ世ヲテラストハ	春日大明神	①13オ	①16ウ	①14ウ	①14ウ	①10ウ	①15ウ	①14オ	①13オ	①11ウ	①16オ	①24ウ 〈巻一〉	①13オ	①13オ
3	ウキモナホ昔ノユヘト思ハスハ イカニコノ世ヲウラミハテマシ	二条院讃岐	①17ウ	①22ウ	①19ウ	①19ウ	①14オ	①21オ	①19オ	①17オ	①15オ	①22オ	①35オ 〈巻二〉	①17オ	①17オ
4	タツネカネ今日見ツルカナチハヤフル 深山ノ奥ノ石ノミマシヲ	藤原光俊					①27オ								
5	伊勢島ヤ清キナキサハサテアレ 我ハ濁レル水ニ宿ラン	善光寺如来					②7オ								
6	極楽ヘ参ラン事ヲヨロコハテ ナニ嘆クラム穢土ノ思ヲ	地蔵	②19オ	②22オ	②23オ	②？	②23ウ	②20オ	②24オ	②19オ	②16オ	②24オ	②27ウ 〈巻三〉	②19オ	②19オ
7	世ヲスクフ心ハ我モアル物ヲ カリノ質ハサモアラハアレ	地蔵	②19ウ	②22ウ	②23ウ	②？	②24オ	②20ウ	②24ウ	②19ウ	②16ウ	②24ウ	②28オ 〈巻三〉	②19ウ	②19ウ
8	心コソ真ノ道ノシルヘナレ カリノスカタハヨソメハカリソ	地蔵													
9	スミナレシ草ノ庵モアレハテ 嵐ヲフセクカケタニモナシ	地蔵													
10	世ヲスツルスツル我身ハスツルカハ ステヌ人ヲソスツルトハミル	西行	③5オ				③5ウ		③6ウ	③6ウ	③4ウ		③9ウ 〈巻五〉	③6オ	③6オ
11	アナカチニ目ミセヌ人ヲヘツラハシ 目ミセン人ヲモマタイナト思ハテ	無住					②30ウ								
12	法ニスキナサケフカクテ目ヲミセン 人ニムツハンソノホカハイヤ	無住					②25ウ								
13	ヘツラヒテタノシキヨリモヘツラハテ マツシキ身コソ心ヤスケレ	無住					③5オ							③17オ	③17オ
14	イニシヘノ浦嶋カコノ箱カトテ アケスハイカニクヤシカラマシ	無住					③5オ							③17オ	③17オ
15	世中ニ媚諂ヘル老キツヲ 死ナヌマタキニウメニハメナテ	北条泰時					③5オ							③17オ	③17オ
16	時モシラスクツニハトリノトヽナキテ ヲトコヲヤリツキツニクワセテ	無住					③21ウ								
17	夜モアケハキツニハメナヲクタカケノ マタキニナキテセナヲヤリツル	無住					③21ウ								
18	ヒトリ住宿コソ月ハサヒシケレ カナラス山ノヲクナレネトモ	伊勢物語十四段					③22オ								
19	住人モ無山里ノ秋ノ夜ハ 月ノ光リモサヒシカリケリ	無住					③22オ								
20	シナノナルキソノカケ橋イツヨリモ フミ見シ時ソ心サワキシ	藤原範永					③40ウ	③25オ	③28ウ	③31オ	③19ウ	③29ウ	③40ウ 〈巻六〉	③25オ	③25オ
21	シナノナルソノハラニシモヤトラネト 皆ハヽキヽト思ヒコソナセ	継母					③40ウ	③25ウ	③28ウ	③31オ	③19ウ	③29ウ	③41オ 〈巻六〉	③25オ	③25オ
22	遁世ノ遁ハ時代ニカキカヘン 昔ハ遁レ今ハ貪ホル	児					③40ウ	③33ウ	③34オ	③36オ	③23ウ	③35オ	③48ウ 〈巻六〉	③30オ	③30オ
23	ヨヲスツルスカタト見ヘテ墨染ノ 袖ハマツシキハチカクシカナ	無住			③26ウ	③29ウ	③36ウ	③33ウ	③36オ	③36オ	③23ウ	③35オ		③30オ	③30オ
24	スエノ世ニスクナキ物ハハヂナサケ 妻モタヌヒジリヲトコセヌヒメ	無住					③41オ	③35オ	③34オ	③36オ	③23ウ	③35オ		③30オ	③30オ
25	ワタツ海ニ臭キ屍ヲ捨ヌカナ 是ヲタノミテ岸ニ付ナン	無住													
26	白露ニ苔ノ衣ハシホルトモ 月ノ光ハヌレン物カハ	無住					④34オ	④38ウ	④36ウ	④44ウ	④26ウ	④38オ	④53オ 〈巻八〉	④31ウ	④31ウ
27	ヨシモナク地水火風ヲカリアツメ 我ト思フソクルシカリケル	無住								④45オ	④27オ	④38ウ		④32オ	④32オ
28	八十チマテカリアツメタル地ト水ト 火ト風イツカ主ニカヘサン	無住								④45ウ	④27オ	④38ウ		④32オ	④32オ
29	ヨシサラハモヌケノサランヲシカラス ヤソチニアマルウツセミノカラ	無住								④45ウ	④27オ	④39オ		④32オ	④32オ

62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30
三井ノ水ミバル宿カニ月カゲモ	山ノ巣トヤマツ井ノ水ミナ影ノ	ヌシホタルヌキ衣モ	ワヒトナ露ル草ノ命ニ	カコレナニラヘシ身ツ	白波ノ名月影スヤ河ノ気カ清ナシ事命道ヘ	詠ハサヤモ別ト祈タ	カハテモ事ソハ	イカニ親タ	思フハ心ハ中成タ	思キヤヲ荒人神ナ名タ	春日野子ヲ鹿モ	御前コナノタマノ四至モ制ケ	君カ世ノ藤河ツ思美濃ナ	ワシトラハ田ク	君ヲノミヨ小タ	高シ山ハマ橋コ月暮テ見モ戦ト	ヲノツ風美相不相違背ヨフ	キク世ヤイノ中ニ	タノ我世タノメシカ原カ	カソ昔ハフ老ヲ歎身我身ニ何ツ年月ヲ	イツトテモ事ハヤウキノヤウ	ムノハ山ナシニカケ月日キフ	ウラヤ心ノマヘ何ヤ河ノシ月モ	コキ世ノヲヨ中ルヲ船ニナ	手ニアルムスフ水シスヘ	アマシタレタミシ	昨日ミホシリカスネタノイ池ニ袖テ	コノ年ノ中カラ春ハソヲ	シキハカタカラヘハソヲ	ハキコレタカヲハタノ	明我心ラナカナカコレ関ニ	無誠アヤマリニ影ノ心ワスヲレ我ソト思ヒソメテ
三井寺法師	延暦寺僧	大進房	隆尊	小屋の主	隆尊	盲目法師	赤染衛門	小式部内侍	若女房	小大進	或人	殿上人	下妻	女童	或人	北条政村	無住	無住	清水観音	平兼盛	道因	縁忍上人	恵心僧都	【児満誓】	【児紀貫之】	将君源運僧都小	宗順	【教月房在原元方】	已講の僧	已講の僧	無住	無住
⑤末4オ	⑤末5ウ	⑤末3ウ	⑤末3ウ	⑤末3ウ	⑤末3オ		⑤末2ウ	⑤末2ウ	⑤末2オ	⑤末1ウ	⑤本23ウ			⑤本23オ	⑤本23オ	⑤本23オ	⑤本22ウ	⑤本22オ	⑤本21ウ			⑤本19ウ	⑤本19オ	⑤本19オ	⑤本18ウ	⑤本18オ	⑤本18オ	⑤本17ウ	⑤本17オ	⑤本17オ	⑤本17オ		
	⑤末5オ	⑤末5オ	⑤末4ウ	⑤末4ウ	⑤末4オ		⑤末3ウ	⑤末3ウ	⑤末3オ	⑤末2ウ	⑤本32オ			⑤本31ウ	⑤本31オ	⑤本31ウ	⑤本30ウ	⑤本30オ	⑤本29ウ			⑤本27オ	⑤本26ウ	⑤本26オ	⑤本25ウ	⑤本25オ	⑤本25オ	⑤本24ウ	⑤本24オ	⑤本24ウ	⑤本23ウ		
⑤末5オ	⑤24オ	⑤24ウ	⑤23ウ	⑤23オ	⑤23オ		⑤23オ	⑤22ウ	⑤22ウ	⑤22オ		⑤31オ		⑤30オ	⑤30オ	⑤30オ																
⑤25ウ	⑤25オ	⑤25オ	⑤25オ	⑤24ウ	⑤24オ		⑤24ウ	⑤24オ	⑤24オ	⑤23オ				⑤23オ	⑤23オ	⑤23オ	⑤22オ	⑤22オ	⑤21ウ			⑤19ウ	⑤18ウ	⑤18ウ	⑤17ウ	⑤17ウ	⑤17ウ	⑤16ウ	⑤16オ	⑤16ウ	⑤15ウ		
⑤26オ	⑤25オ	⑤25オ	⑤25オ	⑤24ウ	⑤24オ		⑤24ウ	⑤24オ	⑤24オ	⑤23ウ				⑤23オ	⑤23オ	⑤23オ	⑤22ウ	⑤22オ	⑤21オ			⑤21オ	⑤20ウ	⑤20オ	⑤19ウ	⑤19オ	⑤19オ	⑤18ウ	⑤18オ	⑤18ウ	⑤17ウ		
⑤27ウ	⑤27ウ	⑤27オ	⑤27オ	⑤26ウ	⑤26オ		⑤26オ	⑤25ウ	⑤25ウ	⑤24ウ				⑤23ウ	⑤23ウ	⑤23ウ	⑤22ウ	⑤22オ	⑤21ウ			⑤20ウ	⑤20オ	⑤20オ	⑤19ウ	⑤19オ	⑤19オ	⑤18ウ	⑤18オ	⑤18オ	⑤17ウ		
⑤27オ	⑤26ウ	⑤26オ	⑤26オ	⑤25ウ	⑤25ウ		⑤25オ	⑤25オ	⑤25オ	⑤24ウ				⑤23ウ	⑤23ウ	⑤23ウ	⑤22ウ	⑤22オ	⑤21ウ			⑤21オ	⑤20ウ	⑤20オ	⑤19ウ	⑤19オ	⑤19オ	⑤18ウ	⑤18オ	⑤18オ	⑤17ウ		

| | | |

| | | |

| | | |

160	161	162	163	164	165	166	167	168	169
イフナラクヌ那落ノ底ニ入ヌレハ	フラ刹利ナラ首陀モカワ底ニ入サリケリ	日マクコルレテヤ神テヌ	猿似タルモカイクレサキ神トエシアナラヌ	世犬時者ルニ木律僧レヤニ独トエシアナラヌ	春ノ苗代秋ノカ見ノユルリホシメ	チハクヤルフシルク神ノユルリミルシツノ小田キマシヤ	アトモナキ雲ニアラヤルツスメ身ヲ思トルテ身ヲ思トルテ	本来中々月ノ面目ハハリナ水母殿	足何ナラクテ雲ハ用事ナ走モカ
高岳親王	妻	女人(雌鶯)	無住	無住	藤原定家	和泉式部	行仙	法心房	法心房
⑧19ウ	⑨2ウ	⑨20オ				⑩末15ウ	⑩末17ウ		
⑧25ウ	⑨4オ	⑨25オ				⑩末20オ	⑩末22オ		
⑧24オ		⑦17オ							
⑧27ウ	⑨4ウ	⑨22オ	⑨39オ		⑩35オ	⑩49オ	⑩50ウ	⑩60ウ	⑩60ウ
⑦23オ	⑦⑤3630ウウオ	⑧3ウ			⑨29オ	⑩18オ	⑩25ウ	⑩38ウ	⑩39オ
	⑤28ウ								
		⑧3オ	⑧22オ	⑨11オ	⑨34オ	⑩11オ	⑩15オ	⑩22ウ	⑩22ウ
⑦13オ	⑦20オ	⑧2ウ			⑨44オ	⑩9ウ	⑩14ウ	⑩21ウ	⑩21ウ
⑦11オ	⑦17オ	⑧2オ	⑧17ウ		⑨26ウ	⑩7ウ	⑩11ウ	⑩17オ	⑩17オ
⑦16オ	⑦25ウ	⑧2ウ	⑧24ウ		⑨38オ	⑩9ウ	⑩14ウ	⑩22オ	⑩22ウ
⑦13オ	⑦20オ	⑧2ウ	⑧19オ		⑨30オ	⑩8ウ	⑩12オ	⑩18オ	⑩18ウ
⑦13オ	⑦20オ	⑧2ウ	⑧19オ		⑨30オ	⑩8ウ	⑩12オ	⑩18オ	⑩18ウ

『雑談集』和歌一覧

※本表は『雑談集』（中世の文学　三弥生書店　昭和48）に基づき作成した。
丸数字は巻数を、下の数字はページ数を示す。

	和歌	歌人名	頁数	備考
1	信施物ハ後ニハ牛ニ成ルト云ヘバ 今日ハ甘葛明日ハ鼻ヅラ	無住	①47	述懐
2	信施故ニ馬ニナルベキシルシカト ヲモヅラヒゲゾアヤシカリケル	無住	①47	述懐
3	何ニ事モヨロコビズ又憂ジヨ 功徳黒闇ツレテアルケバ	無住	①47	述懐
4	アナガチニ目ミセン人ヲヘツラハジ 目ミセヌ人ヲモ又イナトオモハデ	無住	①47	述懐
5	我タメニワロキ人コソ善カリケル ヨキハ中〳〵ムツカシキカナ	無住	①48	「我ガタメニ善キ人ニモ失有リ。我身ヨリハ重ク覚ヘ、又同ジ程ニモ覚レバ、憂モ有レバ、我身ノ愁ノ上ニ、ウチ重テ、イタハシク心苦シ。悪キ人ハ、愁ヘモヨソニ覚テ心ヤスシ。此心ヲ」
6	迷コソ悟リナリケレ迷ハズハ 何ニヨリテカ悟開ラカン	無住	①49	「カヽル迷物ノ末葉トナレル、悟ルベキ因縁ナルベシ。サレバ迷物トナレル、コレ悟ベキ端ナリ」
7	愚痴僧ヲ牛ノ如クニ見ル程ニ 牛ノ若シ袈裟着テ行メ	無住	①53	「末代ノ僧ヲ上代ノ僧ニモ比シ、マシテ聖者ニ比スルニ、如二牛羊等一。又劫末ニハ不レ聞二仏法名字一。唯圓レ頭僧可レ有。比彼如二聖僧一。況ヤ比二牛羊一哉。此ノ意ヲ詠ズ」。※「バシセバ仏トゾ云ハン思時コソ貴カリケレ」意味不明。
8	鹿ノ糞ハ木　子トモカタラフニ 我ガ身ノ我レニ似タル友ナシ	無住	①76	「世間ノ人、出家ノ人、面々ニ其ノ志シ異ナル故、全ク心操ノ相ヒ似タル人、世ノ中ニナキ事ヲ詠ゼル」
9	猿似ナル木律僧ヲバハナレツヽ 犬侍者ニモナリニケルカナ	無住	②90	「量ヲ立テ一首ヲ詠ジテ、菩提山ノ同法ノ僧ノ許ヘ遣テ侍シ、思ヒ出シ侍リ　我ハ是犬侍者宗、像ハ似テ非レ実ニ故ニ因、猶シ如二犬辛夷一喩」
10	羊ノ尾猿ノ頭ヲ忘レツヽ 猫ヲロシスル犬侍者カナ	無住	②91	「同法ノ犬侍者ノヲロシスルヲ見テ詠ズ」
11	五欲ノ境ハ愛執アレドイトハシク イツモアカヌハ一乗ノ経	無住	②94	「当機ニ相応セムニ付テハ、尤可レ行事也。何事モ常ニ翫ニハ、イトハシク、メヅラシカラヌニ、此行随分不レ倦、此意」
12	何物モ常ニ見ルニハイトハシヽ イツモアカヌハ粥ト大乗	無住	②94	同右
13	道心ハ梯ヲ立テモヲヨバヌニ 天須菩提ノ跡ゾマネタキ	無住	③101	『分別功徳論』巻五にある好衣第一の天須菩提の話から。
14	実ナクテ跡バカリ似タルワガ身ヲバ 犬天須菩提トヤ云ベカルラン	無住	③101	同右
15	ヘツラヒテ富メル人ヨリヘツラハデ マヅシキ身コソ心ヤスケレ	無住	③113	「楽天云、「富貴ノ名ノミ有テ、富貴ノ実無シ」ト。書云、「雖レ貧無レ諂、雖レ富無レ驕」。取意」。イミジキ誡也。身ニモコレバカリハ、随分ニ古人ノ跡ヲ学ビ侍リ。述懐」
16	世ニアルハ思ヘバ人ノ従者カナ 上ニツカワレ下ニツカハル	無住	③114	「上奉下ヲ顧レバ、人ノ後見歟、従者歟トゾ見ヘ侍ル。功ノ入ル事ハ、上モ下モ無二別ナル事一。大ナル人ハ家人・下部多ケレバ、猶々下レバ多ク費有ルガ、只座コソ下ナレドモ、如二主君一下座セルナルベシ。上ニ事ヘ下ニ事フルニテ侍ルベシ」
17	貧キヲナニカナゲカム心アラバ ステヽモカクゾアルベカリケル	無住	③115	「釈迦ノ御代ニハ、貧ニシテ道ヲ行ジ、弥勒ノ時ハ富デ法ヲ悟ト云ヘリ。今ノ末世ニ適滅後ノ遺弟列リテ、貧ナル事可レ悦。心アラム人ナゲクニタラズ」
18	ヨシヤゲニ貧キ家ゾヲノヅカラ 世ヲノガレタルスマイナリケル	無住	③115	同右
19	マコトシキ心ナケレドマヅシサノ 恥カクシニゾ世ヲノガレヌル	無住	③115	同右
20	世ヲスツル形トミエテ墨染ノ 袖ハマヅシキハヂカクシカナ	無住	③115	同右
21	コトハリハサルベキコトヽ思ヘドモ 身ノマヅシキモカナシカリケリ	無住	③116	貧しきを憂えず、という一連の説の後に、「タヾシ、サシアタリテハ、又無レ術カタモ侍ルニヤ」として。
22	カヽルコソ世ヲノガレタル形ヨト 思時コソ身ノ貧サハナグサマレケリ	無住	③116	同右
23	サラズトモ愛スルヨシニイヒナシテ 世ヲワタルベキ粥ト麦飯	無住	③116	「当寺ノ作法、常ニ絶レ煙、夏ハ麦飯・粥ナドニテ、命ヲツギ侍リ。愚老病躰、万事不階ノ中ニ、老子ノ云ヘル、禍ノ中福ニテ、麦飯ト粥ヲ愛シ侍ル故、分ノ果報也。述懐」

24	世ノ中ハアルニマカセテアラレケリ アラムトスレバアラレザリケリ	無住	③121	「古人ノ申サレシハ、「人モ心モ我心ニマカセントスレバ、都テサル事ナシ。只人ノ心ニマカセ、所ニマカスレバ、イカナル人ニモソハレ、イカナル所ニモ、アラルヽ」ト。イミジキ詞也」
25	ヨシサラバ物ヲ心ニマカセジヨ 心ヲ物ニウチマカセツヽ	無住	③121	同右
26	心ヲバ水ノ如ニモチナシテ 方ト円トヲ物ニマカセン	無住	③121	同右
27	ツナガザル船ノ如ニ身ヲナシテ 西モ東モ風ニマカセン	無住	③121	同右
28	五月雨ニセヽノフチ〳〵ヲチタギリ 氷魚ケサイカニヨリマサルラン	源頼政	④148	「源三位頼政　隠題和歌　藤　鞭　桐　火桶　頼政」
29	庭ノ面ノサクラハナカバスギニケリ ヤヨヒノソラハ半バナラヌニ	無住	④148	「延慶二年乙酉季春初比詠レ之」
30	アナガチニ尋モイラジ閑ナル 心ゾ人ハミヨシノヽヲク	無住	④148	「常ニ独坐老後ハ人不二問訪一、心静ナル事ヲ思ヒツヾケテ」
31	皆人ハトヲザカリ行老ガ身ゾ 深キ山辺ニ入ル心地スル	無住	④149	「老後ノ述懐」
32	老ラクハ問来人モナカリケリ 長キ命ゾフカキミヤマヘ	無住	④149	同右
33	ヨシサラバ尋モ入ラジヲノヅカラ 問ハレヌ宿ゾミヨシノヽヲク	無住	④149	同右
34	世ノ中ハ人ノフルマヒ聞ミルニ イカデカ本ノ道ニ入ルベキ	無住	④149	「勢妙蓮華寺世間人ノ事、思ツヾケテ述懐」
35	坐禅誦経学シカキヨム人ゾナキ 飲食遊ビ色ニノミトム	無住	④149	同右
36	坐禅誦経談義ノ座ニハ眠ドモ 飲食時ハ目ヲサマスカナ	無住	④149	同右
37	食物ヲ坐禅ノ床ニヲキタラバ 公案ヨリハ目ハサメヌベシ	無住	④149	同右
38	モロトモニ大乗ナレド大乗ノ 坐禅ヨリ茶ハ目コソサメケレ	無住	④149	同右。「大乗ノ茶ト云ハ、玄水也。俗ハ三寸ト云。此ヲ用レバ、風三寸バカリ身ニ不レ近云ヘリ。大乗ノ茶ノ事ハ、嵯峨ノ道観房ノ因縁也。」
39	目モミエズ耳モキコエズ音タヽズ 三ノ猿コソタモチヤスケレ	無住	④149	「先年目ノヤマヒニ、ツヤ〳〵ミエズ。咳病ニ音枯テ、ツヤ〳〵タヽズ。耳ハ久ク不レ聞侍候マヽニ、思ツヾケテ」
40	イハザルトミザルキカザルヨリモナヲ 不レ思コソタモチガタケレ	無住	④149	同右
41	三ノ猿ハヨシヤヲドリモハネモセヨ 不レ思ヲゾヨクツナグベキ	無住	④150	「不レ言不レ見不レ聞。見惑易レ断、如レ破レ石。思惑難レ断、如二藕糸一云々」
42	三ノ猿ト思ハザルダニタモチナバ 坐禅ノ時ノ心チナルベシ	無住	④150	同右
43	ヨシモナク地水火風ヲカリアツメ 我ト思フゾクルシカリケル	無住	④150	「圭峯禅師ノ云、「以二空寂一、為二自身一、勿レ認二色身一。以二霊知一、為二自心一、勿レ認二妄想念一」。此則朝暮、止観修行用心也。私ニ詠レ之」
44	ヤソヂマデヨクアツメタル地ト水ト 火ト風イツカヌシニカエサン	無住	④150	同右
45	ヨシサラバモヌケテサラムヲシカラズ ヤソヂニアマルウツセミノカラ	無住	④150	同右
46	アヤマリニ影ヲ我ゾト思ナシテ マコトノ心ワスレテシカナ	無住	④150	同右
47	アキラカニシヅカナルコソマコトニハ 我ガ心ナシソノホカハカゲ	無住	④150	同右
48	マコトナル心ノ月ハヲノヅカラ 山ノハモナクテイデ入モナシ	無住	④150	「心月」
49	クモリナキ心ノ月ハ昔ヨリ マチヲシムベキ山ノハモナシ	無住	④150	同右
50	クモリナキ心ノ月ゾハレニケル 西フク風ニ雲ハ消ツヽ	無住	④150	「祖師西来ノ意」

51	松ニサク池ノ藤波ミルタビニ 心ニカヽル紫ノ雲	無住	④151	「紫雲来迎」	
52	我身ヲバツナガヌ船ニナシハテヽ 西モ東モ風ニマカセム	無住	④151	「万事世間任レ運アルベキ心地ノ述懐」	
53	心ヲバ水ノゴトクニモチナシテ 方ト円トヲ物ニマカセム	無住	④151	同右	
54	我身ナヲ我ガ思フニモカナハヌニ 人ヲ心ニマカスベシヤハ	無住	④151	同右	
55	ヨシサラバ物ヲ心ニマカセジヨ 心ヲ物ニウチマカセツヽ	無住	④151	同右	
56	コトハリハサルベケレドモホシカラズ 野老ノニガク人ノワロキハ	無住	④151	「凡夫ノ習」	
57	アナガチニ人ヲワロシト思ハジヨ 我身モゲニハヨウモナケレバ	無住	④151	同右	
58	浦山シヲナジウキ世ニメグレドモ 月ハ雲居ノ上ヲ行哉	無住	④151	「寄レ月述懐」	
59	モロトモニ影カタムキテナガムレバ 月モアハレト我ヲミルラン	無住	④151	同右	
60	山カゲノ谷ノ庵ハウカリケリ 月ミルホドノソラゾスクナキ	無住	④151	「山家ノ月」	
61	独リスムヤドコソ月ハサビシケレ 必ズ山ノヲクナレネドモ	無住	④152	「閑亭ノ月」	
62	人ハ不和寺ハ無縁ニ薪ナシ 木ガサキニコソコリハテニケレ	無住	④152	「当寺ニ四十余年経廻、因縁尽タルニヤ、万事心不レ留事ヲ詠レ之」	
63	世ノ中ノ濁リニシマヌ心モテ 蓮ノ華ノ寺ニスムカナ	無住	④152	「蓮華寺ニ常ニ栖心ヲ」	
64	聞ヤイカニ妻ヨブ鹿ノ音マデモ 皆与実相不相違背ト	無住	④152	「先年閑居ノ山里ニテ詠レ之　沙石集第五ニアリ」　「或人初ノ句ヲ難云。申スニ付テ、此ハ彼ノ宮内卿ノ、名歌「聞ヤイカニ、ウハノソラ」ノ句ヲ取テ侍ル。名歌ノ一二句ヲ取テ、風情カハレルハ、皆古人ノ用所ナルカト思計也。但カレヲトラズトモ初ノ句ヲ「誰カ聞ク」トナヲステヤ侍ル覧、此ハ心猶々深ク侍ル也」
65	ナニ事モヨロコビズ又ウレエジヨ 功徳黒闇アヒハナレネバ	無住	④152	「音訓和歌　万事不レ喜亦不レ憂　功徳黒闇不二相離一」 嘉元元年癸卯十月廿五日詠此　沙門無住
66	昔人ノマゲズ針ニテ魚ツリシ ナヲキ心ヲ今モマナバン	無住	⑤161	「昔ノ人ノ魚ヲ釣ケルガ、針ヲ曲ズシテ釣ケリ。其ノ志ハ、我レ可レ食分アラバ、ツラルベシトテ、ツラルヽヲ食シケリト云ヘリ。此意ヲ」
67	コムギ武士帷姫ヲヲモヒツレバ サムサヒダルサワスラレニケリ	無住	⑤163	
68	思ヘドモ忌トテイハヌ事ナレバ ソナタニムキテネヲノミゾナク	選子内親王	⑤184	賀茂斎宮の意念往生話。
69	ナガラヘバ日カズスクナキ老ノソラ 身ニイトナムベキハ後世ノ事	無住	⑦242	「老後ニハ、コトニ光陰ヲ空クセズシテ、後世ノ資糧ツヽムベシト思侍リテ、述懐」
70	四念處ノモトノミヤコヲマドヒイデ 四倒ノ里ニウキメヲゾスル	無住	⑧247	「四念處ニ住シ、観心成就シテ、実証ノ位ニ至リナバ、自境界ニ處シテ、本有ノ常楽ノ妙境ニ、会帰スベシ。妄心不レ除シテ、四倒ノ心ノミアラバ、コレ他境界ニ処シテ、身心常ニ苦悩スベシ。コノ心ヲヨメル」
71	寂照ノマコトノ我ヲワスレツヽ 昏散ノ他ニヤトハルヽ哉	無住	⑧247	「……無住ノ霊光ニ心眼ヲカケテ、昏散ニヲカサレザラム人、実ニ道行ノスガタナルベシ。コノ心ヲ」
72	浄眼ガ我身如来トナノリケル 犬仏トヤ云ヘルナルラム	無住	⑧249	蓮華面経の和泉比丘尼と浄眼比丘の話から。
73	長キ世ノ眠ノ中ニマタネブリ 夢ノ世ニ猶夢ヲミルカナ	無住	⑧261	「夢ノ事」。無明長夜を詠じた歌。『千載集』の慈円歌「旅の夜にまた旅寝して草枕夢の中にも夢を見るかな」と同工異曲。
74	法ノ水ホカニモトメジトヾコホル 心ヲゾヨク思トクベキ	無住	⑧262	「迷悟ノ心ヲ」
75	ナガラヘテ又コノゴロヤ忍バレム ウシトミシ世ハイマゾコヒシキ	藤原清輔	⑨281	『新古今集』の清輔歌「ながらへば又このごろやしのばれんうしと見し世ぞ今は恋しき」
76	ナヲザリニ親子ノ契ムスビシガ ナレテ思ヘバ実ナリケリ	無住	⑩317	「別後適相遇　窮子不レ信レ父　誘引結二芳契一　馴始知二実父一」